

あいなん掲示板

■あいなん小児医療を守る会から

知っておこう！心肺蘇生法

7月22日、守る会で毎年恒例となつている愛南町消防署職員の方による救命救急講習会が、プラザじょうへんで行われました。夏休みということもあり、乳児や小学生の子どもさんも参加してくれました。講演会では乳児と小児の人形を使って、AEDの使い方、人口呼吸や胸部圧迫のやり方など、いざというときに備えて親子で真剣に取り組みました。

1歳未満の乳児の場合は、足の裏を叩いて刺激を与えることで意識の有無を確認できるそうです。また、AEDを使用する際、以前は「足元が濡れていたら別の場所に移動させる」、「アクセサリーは取り除く」と指導されていたようですが、現在はしなくても大丈夫だそうです。

私は毎年講習会に参加しているお陰なのか、胸部圧迫のやり方を職員の方に褒めてもらいました。しかし、自信過剰は禁

物。心肺蘇生法の手順は変更されることもあるらしいので、続けて講習会に参加したいと思っています。

方が一のこと起きないよう、おもちゃなどの誤飲、交通事故に遭わないなど日頃から「まず予防！」と救命救急士の方が言われていました。



問合せ

あいなん小児医療を守る会

TEL 73-2288

ainan.namoru@gmail.com

お知らせ

Jazz in 四国(愛南町)実行委員会から

愛南町合併10周年記念事業 Jazz in 四国(愛南町)を開催します

全国各地で活躍している日野皓正、峰厚介、ケイ赤城、グレース・マーヤ、中本マリら豪華出演者が、そうそうたるメンバーを引き連れて盛大な野外コンサートを行います。

会場内では飲食ブースもご用意していますので、飲みながら、食べながらゆったりとジャズの調べに酔いしれることができます。

料金等、詳しくはお問い合わせになるかホームページ(<http://www.jazz-in-shikoku.com>)をご覧ください。

日程 10月5日(日) 15時開演(14時開場)

会場 株式会社レクザム愛南工場内 野外特設ステージ

問合せ

Jazz in 四国(愛南町)実行委員会
(平日9時~16時) TEL 72-1012



日野皓正クインテット

お知らせ

愛南町社会福祉協議会から

障害者相談支援事業(一般相談)を開始しました

愛南町社会福祉協議会では、障害者(児)、その家族や介護者を対象に、障害のある人の福祉に関する様々な問題について相談を受け、必要な情報の提供やサービスの利用支援のほか、権利擁護のために必要な支援を行う一般相談事業を開始しました。

一人で悩まずに、お気軽にご相談ください。

実施日 月~金曜日(祝祭日等を除く。)

実施時間 8時30分~17時15分(必要な場合、時間外の対応も可)

問合せ

愛南町社協 相談支援事業所 TEL 72-3547

■県立南宇和病院から

県立中央病院研修医が愛南町で 地域医療を学びました

7月26日・27日、県立中央病院の研修医を対象に「南宇和病院見学ツアー」が開催されました。

ツアーでは、清水雅文^{まさふみ}町長が愛南町の豊かな風土や産物を紹介したほか、鶴岡高志^{たかし}院長による病院概要説明、御荘病院の長野敏宏院長による先進的医療の取組の紹介に加え、3名の先生方から実践的な症例検討や愛南町での地域医療体験談を披露していただきました。また、交流会では、南宇和郡医師会の先生方や地元団体・住民との親交を深めることができました。

今回の体験は、将来の医療を担う研修医が愛南町の自然や温かい人柄に接するとともに、地域医療への関心を高め、将来の選択肢や視野を広げる良い機会になりました。



お知らせ

松山地方事務局から

高齢者・障害者の人権あんしん 相談のお知らせ

松山地方事務局及び愛媛県人権擁護委員連合会では、9月8日(月)から14日(日)までの全国一斉「高齢者・障害者の人権あんしん相談」強化週間に合わせ、電話で相談をお受けします。相談は無料で秘密は堅く守られますので、お気軽にご相談ください。

日時 9月8日(月)～12日(金) 8時30分～19時

9月13日(土)、14日(日) 10時～17時

電話番号 全国統一電話番号 0570-0003-1110

※携帯電話可、一部IP電話からは接続できません。

相談内容 相続・扶養問題等、高齢者・障害のある方の人権問題に関するあらゆる相談

問合せ 松山地方事務局 TEL 089-932-0888

お知らせ

宇和島保健所から

「危険ドラッグ」相談窓口を開設しました

全国的に「危険ドラッグ」による事件、事故等が頻発している事態を踏まえ、愛媛県では販売店等の取締りやネット販売への監視を強化するとともに、県民の皆様が早期に相談できる体制を整えるため、宇和島保健所に常設の「危険ドラッグ相談窓口」を設置しました。

危険ドラッグ等の薬物の問題を抱える方やそのご家族の方は、お気軽にご相談ください。

開設時間 8時30分～17時15分 ※土日、祝祭日等を除く。

相談窓口(連絡先)

宇和島保健所 TEL 0895-28-6105

E-mail nan-hokenkikaku@pref.ehime.jp

お知らせ

愛媛県から

「空海の足音 四国へんろ展」を開催します

四国霊場開創1200年を記念して、高野山の名品や愛媛の札所の文化財を中心に、四国へんろの歴史と文化について総合的に紹介する展覧会を開催します。国宝や重要文化財のほか、愛南町の札所 観自在寺所蔵の「鰐口」や「四国遍路 絵図版木」など約100件を展示します。

日時 9月6日(土)～10月13日(月・祝) ※開館時間や休館日にご注意ください。

場所 愛媛県美術館

観覧料 大人 1,300円、高大生 1,000円

小中生 700円

※前売券、団体(20名以上)や満65歳以上の方の割引きもあります。ぜひご利用ください。

問合せ

愛媛県美術館 TEL 089-932-0010

展覧会のご案内 TEL 089-932-0279

お知らせ

全国B型肝炎訴訟広島弁護団から

B型肝炎訴訟説明会について お知らせします

日時 9月27日(土) 14時～

場所 宇和島リージェントホテル会議室

内容 ・集団予防接種の際の注射器の回し打ちによるB型肝炎ウイルス感染被害に関し、国から和解金支払い等を受けるための手続きについて

その他 参加は無料で、予約不要です。

問合せ

全国B型肝炎訴訟広島弁護団 TEL 082-223-6589

お知らせ

松山地方裁判所から

「全国一斉！法務局休日相談所」を 開設します

全国の法務局では、平日に法務局を利用できない方に対する行政サービスの一環として「法務局休日相談所」を開設します。秘密は厳守します。お気軽にご相談ください。

日時 10月5日(日) 10時～15時

場所 フジグラン大洲(6階アクトピアホール)

相談内容 登記、境界、戸籍、供託、人権問題、遺言及び公正証書関係など

相談担当者 法務局職員、公証人、人権擁護委員、司法書士、土地家屋調査士

費用 無料

問合せ 松山地方裁判所大洲支局 TEL 0893-5015055

お知らせ

松山地方裁判所から

「無料法律相談所」を開設します

法の日週間(10月1日～7日)に合わせ、無料法律相談所を開設します。お気軽にご相談ください。

日時 10月2日(木) 10時～15時

※受付時間 9時～14時30分

場所 松山地方裁判所宇和島支部

参加方法 当日、直接開場にお越しください。先着順に受け付けます。

相談内容 金銭関係、不動産関係、家庭関係の悩み事など
相談担当者 愛媛弁護士会所属の弁護士

相談時間 30分以内

問合せ

松山地方裁判所宇和島支部 TEL 0895-221-1133

防衛大学等の学生を募集します

【防衛大学校学生一般(前期)】

応募資格 高卒(見込み含む。)で21歳未満の方
第一次試験日及び試験地

11月8日(土)、9日(日) 宇和島市役所

【防衛医科大学校学生(看護学科、医学科)】

応募資格 高卒(見込み含む。)で21歳未満の方
第一次試験日及び試験地

看護学科…10月18日(土) 松山大学

医学科…11月1日(土)、2日(日) 松山大学

※受付締切はいずれも9月30日(火)です。

問合せ 自衛隊宇和島地域事務所 TEL 0895-235431

ケアハウスの入居者を募集します

城辺みしま荘ケアハウスでは一人部屋と二人部屋が空いており、入居者を募集しています。各部屋にはトイレ・洗面所・ミニキッチン・エアコンが設置されており、食事は一日3食提供します。

施設の概要等、詳しくはお問い合わせください。また、見学を希望される方は、ご連絡ください。

入居の対象となる方

・60歳以上の方で、身の回りのことは自分でできるが、自炊ができない程度の身体能力の低下や独立して生活するには不安のある方



申込み・問合せ

ケアハウス城辺みしま荘 TEL 70-1175

— あいなん音故地新 — 楽しむ、ということ。～後編～

— 剣道なんて、夏は暑いし冬は寒い。痛いし臭いし、もつと現実的なことを言えばお金がかかる笑。それだけ見ればいいことなんて一つもない。ただそれ以上に、剣道は心と体を鍛え、礼節を学び、思いやりのある人間を創ると思ってる。幸せなことに、あたしは指導者に恵まれて勝つ喜びをたくさん味わった。それがあつたから厳しい稽古にも耐えられた。その経験は大人になってからも活かされてる。

— 子どもは大人を選べん。環境も選べん。子どもには大人の方が必要。いくら勝ちたい気持ちがあっても、それをめざしてない指導者の下での成長は難しい。だから、子どもたちの“勝ちたい”を聞いて、少しずつ稽古を変えさせてもらった。あたしは子どもたちの勝つ姿が見たい。その姿を見て喜ぶ親御さんの顔が見たい。

あたしに剣道の基本と礼節を叩き込んでくれた2人の先生に、20数年の時を経て改めて感謝してる。2人のような指導者になるのは到底無理やけど、あたしがしてもらったように今の子どもたちがどこに行っても恥ずかしくない剣道を教えたいと思う。勝ち負けだけじゃなく。先生方のこともいつかここで話ししましょ!

(テノヒラkiku)